ユーザーズマニュアル

USB 接続　3.5 インチシリアル ATA 対応 外付け HDD キット

PL-35STU

プラネックスコミュニケーションズ株式会社

Version: PL-35STU_QIG-A_V2

はじめに

●パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

☑ ユーザーズ・マニュアル（本紙）　☐ USB ケーブル
☐ PL-35STU（本製品）　☐ HDD 取付用ねじ × 4
☐ スタンド　☐ 安全に関するご注意 / 保証書
☐ AC アダプタ

※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、
販売店または弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。

●別途ご用意ください。

☐ フォーマット可能な内蔵用 SATA 3.5 インチハードディスク（HDD）
☐ プラスドライバー
☐ 利用可能な USB ポートのあるパソコン

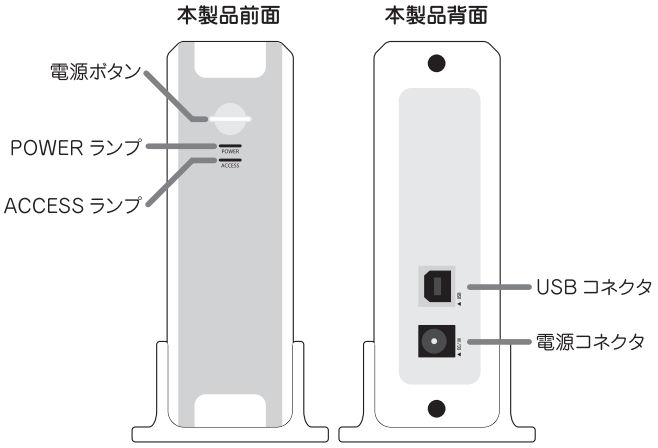
最新の情報は、弊社ホームページ（http://www.planex.co.jp/）をご参照ください。

ハードディスク搭載モデルをお買い上げのお客様へ

ハードディスク搭載モデルには、出荷時にハードディスクが装着されておりますので、**本ユーザーズ・マニュアルの「STEP 1 ハードディスクを取り付ける」の手順は不要です。**「STEP 2 接続する」から行ってください。

※ハードディスクを搭載していないモデル、または搭載モデルでハードディスクの入れ替えを行うときは、すべての手順が必要となります。

各部の名称とはたらき



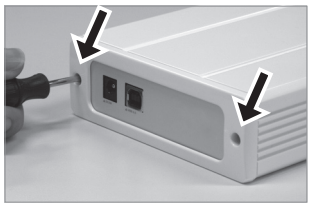
ランプの動作と状態は次のとおりです。

ランプ	動作	状態
POWER	点灯	電源オン
	消灯	電源オフ
ACCESS	点灯または点滅	HDD への読み書き中
	消灯	HDD への読み書きなし

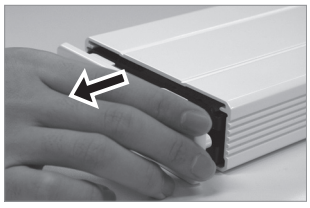
STEP 1 ハードディスクを取り付ける

本製品に内蔵用ハードディスク（HDD）を取り付けます。
本製品の電源はまだ入れないでください。

1 本製品をテーブル等の平らなところに置き、背面パネルのねじを外します（2 カ所）。

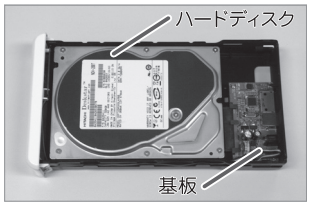


2 本製品の背面パネルを取り外します。

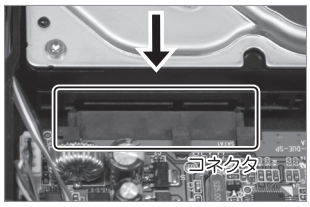


3 本製品の胴体部分と前面のパネルを持ち、前面のパネルを引いてトレイを取り出します。

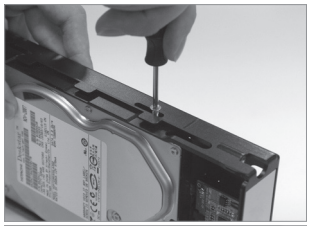
4 取り出したトレイに、ハードディスクをはめこみます。
※ハードディスクのコネクタ側が、トレイ内の基板側になるようにはめ込んでください。ハードディスクの端子部や基板には素手で触れないようにご注意ください。



5 ハードディスクをスライドさせて、ハードディスクとトレイ内のコネクタを接続します。
※コネクタの奥まで確実に接続してください。

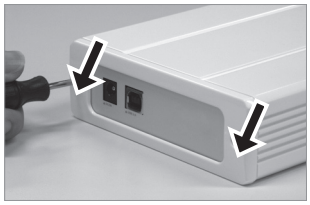


6 付属のねじを使って、トレイにハードディスクをねじ止めします（4 カ所）。



7 ハードディスクを固定したトレイを、本製品の胴体部分に挿し込みます。
※上下に注意して挿し込んでください。胴体部分内部にガイドがあるほうが上になります。

8 背面パネルを取り付け、ねじで固定します（2 カ所）。



以上でハードディスクの取り付けの完了です。

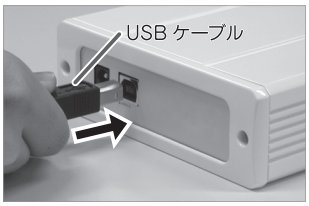
STEP 2 接続する

本製品とパソコンを接続する手順を説明します。

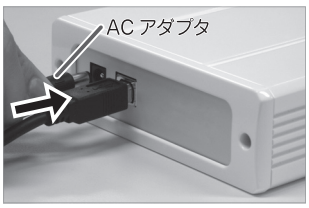
⚠ご注意！

- 本製品をパソコンに接続するときは、必ず本項の手順で接続してください。異なる手順で接続すると、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。
- 本製品は、電源をオンにする前に安定した場所に設置してください。電源がオンのときに振動を与えたり移動させたりすると、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。
- 本製品は、パソコン本体に標準装備された USB ポートに接続してください。

1 付属 USB ケーブルを、本製品背面の USB コネクタに接続します。



2 付属 AC アダプタを、本製品背面の電源コネクタに接続します。

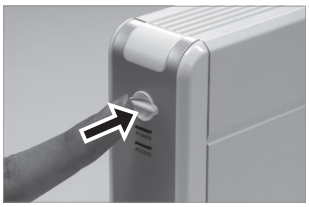


3 付属 USB コネクタの反対側を、パソコンの USB ポートに接続します。

4 本製品前面の電源ボタンを押します。

▼

本製品の「POWER」ランプが点灯し、本製品の電源がオンになります。パソコンに本製品が認識され、OS 標準のドライバがインストールされます。



以上で接続の完了です。

STEP 3 ハードディスクをフォーマットする

ハードディスクは、お使いのパソコンで読み書きができるように「フォーマット」という初期化作業をする必要があります。フォーマットされていないハードディスクを本製品に取り付けているときは、フォーマット作業をしてください。
フォーマットの方法は、お使いのパソコンの OS によって異なります。お使いの OS をご確認の上、各 OS での手順を参照してフォーマットを行ってください。
本項では参考として各 OS ごとの手順例を説明します。

⚠ご注意！

- フォーマットを行うと、ハードディスク内のすべてのデータが消去されます。フォーマットを行うハードディスクを選ぶときは、よく確認してください。またフォーマットを行うときは、本製品以外の外付けハードディスクや USB メモリー、メモリーカード等を、パソコンから取り外しておくことをおすすめします。
- フォーマット済みのハードディスクを本製品に取り付けたときは、フォーマットを行う必要はありません。
- ハードディスクのフォーマットには数分～数 10 分かかることがあります（ハードディスクの容量によって異なります）。その間は本製品およびお使いのパソコンの電源を切ったり、USB ケーブルや電源ケーブルを抜く等は絶対にしないでください。

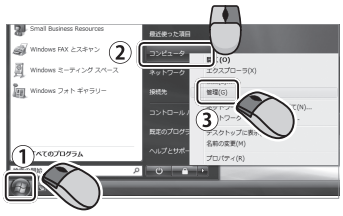
Windows 7/Vista/XP/2000 のとき

ハードディスク全体を 1 つのドライブとして使用する場合を例に、フォーマット手順を説明します。Windows Vista の画面を例に説明していますが、Windows 7/XP/2000 でも手順は同じです。
※Windows 7/Vista で「ユーザーアカウント制御」が表示されたときは、［はい］または［続行］をクリックして手順を進めてください。

1 ①［スタート］をクリックします。
②「コンピュータ」（Windows XP/2000 のときは「マイコンピュータ」）を右クリックします。
③「管理」をクリックします。

▼

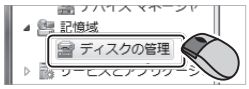
「コンピュータの管理」画面が表示されます。



2 「ディスクの管理」をクリックします。

▼

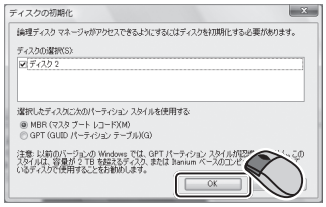
「ディスクの初期化」画面が表示されます。



3 ［OK］を（Windows XP/2000 のときは［次へ］→［完了］の順に）クリックします。

▼

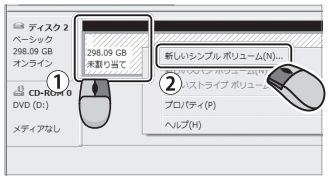
「ディスクの初期化」画面が閉じます。



4 ① 本製品に取り付けたハードディスク（「未割り当て」と表示されています）を右クリックします。
②「新しいシンプルボリューム」（Windows XP / 2000 のときは「新しいパーティション」）をクリックします。

▼

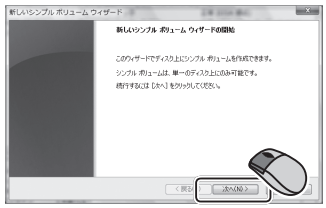
「新しいシンプルボリュームウィザード」画面（Windows XP/2000 のときは「新しいパーティションウィザード」画面）が表示されます。



5 ［次へ］をクリックします。

▼

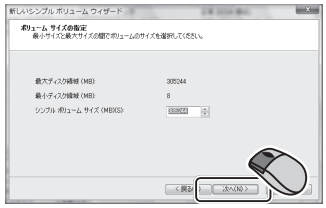
「ボリュームサイズの指定」が表示されます。
※ Windows XP/2000 で「パーティションの種類を選択」が表示されたときは、［次へ］をクリックします。



6 ［次へ］をクリックします。

▼

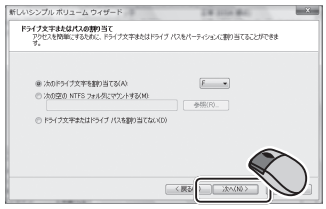
「ドライブ文字またはパスの割り当て」が表示されます。



7 ［次へ］をクリックします。

▼

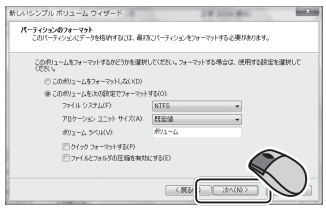
「パーティションのフォーマット」が表示されます。



8 ［次へ］をクリックします。

▼

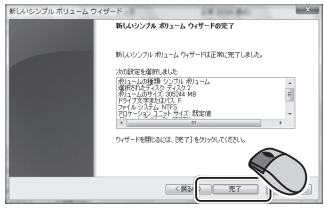
「新しいシンプルボリュームウィザードの完了」（Windows XP/2000 のときは「新しいパーティションウィザードの完了」）が表示されます。



9 ［完了］をクリックします。

▼

ウィザード画面が閉じ、フォーマットが開始されます。



⑩ **ディスクの状態が、「フォーマット中」から「正常」に変わります。**

▼

フォーマットが完了しました。
「コンピュータの管理」画面を閉じます。

以上で本製品に取り付けたハードディスクが使用可能になります。

Windows Me のとき

Windows Me では、「MS-DOS プロンプト」の「FDISK」コマンド（FDISK.EXE）を実行して領域の確保を行ってからフォーマットを行います。

「スタート」→「プログラム」→「アクセサリ」→「MS-DOS プロンプト」をクリックし、キーボードで「fdisk」と入力して<Enter> キーを押すとメニューが表示されますので、画面の表示に従って操作して領域を確保します。その後、「マイコンピュータ」→ハードディスクを右クリック→「フォーマット」をクリックし、画面の表示に従って操作してフォーマットします。

※より詳細な情報が、弊社ホームページの FAQ に掲載されています。

Mac OS X のとき

ハードディスク全体を 1 つのドライブとして使用する場合を例に、フォーマット手順を説明します。Mac OS X 10.5 の画面を例に説明していますが、Mac OS X 10.6/10.4/10.3 でも手順は同じです。

① **本製品をパソコンに接続してしばらくすると、「ディスクのセット」画面が表示されますので、［初期化］をクリックします。**
※「ディスクのセット」画面が表示されないときは、Finder で「移動」→「ユーティリティ」の順にクリックして、「ディスクユーティリティ」をダブルクリックします。

▼

「ディスクユーティリティ」が表示されます。

② ① **画面左側から本製品をクリックして選びます。**
※（オレンジ色のアイコンと、本製品に取り付けたハードディスクの容量、ハードディスクの型番が表示されています）
② **「消去」をクリックします。**

③ **［消去］をクリックします。**
※「ボリュームフォーマット」や「名前」を変更するときは、設定 / 入力してから［消去］をクリックします。

▼

「ディスクの消去」が表示されます。

④ **［消去］をクリックします。**

▼

フォーマットが開始されます。

⑤ **フォーマットが完了すると、デスクトップにハードディスクのアイコンが表示されます。**

▼

フォーマットが完了しました。
「ディスクユーティリティ」を閉じます。

以上で本製品に取り付けたハードディスクが使用可能になります。

ワンポイント

Mac OS X 10.5 では、ハードディスクのフォーマットが完了したときに「Time Machine でバックアップを作成するために使用しますか ?」画面が表示されることがあります。この画面から設定することで、本製品を Time Machine 機能で使用することができます。詳しくは、Mac OS X 10.5 のヘルプを参照してください。

STEP 4 本製品を取り外す

本製品をパソコンから取り外したり、電源を切ったりするときの手順を説明します。

・**パソコンの電源をオフにしてから行うとき**
そのまま取り外したり、電源を切ることができます。

・**パソコンの電源をオンにしたままで行うとき**
取り外し操作が必要です。操作の手順は、お使いのパソコンの OS によって異なります。以下では各 OS ごとの手順を説明します。

⚠ご注意！

・パソコンの電源をオンにしたまま本製品を取り外すときは、必ず本項の手順で取り外してください。異なる手順で取り外すと、ハードディスクやハードディスク内のデータが破損することがあります。

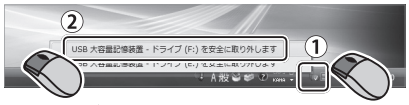
Windows 7/Vista/XP/2000/Me のとき

Windows Vista の画面を例に説明していますが、Windows 7/XP/2000/Me でも手順は同じです。

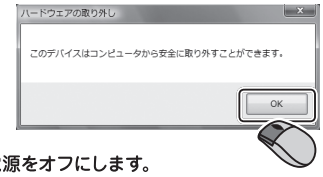
① ① **タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。**
② **「USB 大容量記憶装置 - ドライブ (?:) を安全に取り外します」をクリックします。**
※「?」にはドライブ文字（ドライブレター）が表示されます。お使いのパソコンの環境によって異なります。

▼

「ハードウェアの取り外し」画面が表示されます。



② **［OK］をクリックします。**



③ **本製品前面の電源ボタンを押して電源をオフにします。**

④ **USB ケーブルを取り外します。**

以上で本製品の取り外しは完了です。

Mac OS X のとき

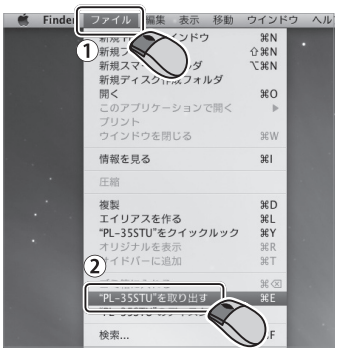
Mac OS X 10.5 の画面を例に説明していますが、Mac OS X 10.6/10.4/10.3 でも手順は同じです。

① **デスクトップに表示されている本製品のアイコンをクリックして選択します。**

② ① **Finder で「ファイル」をクリックします。**
② **「"??????" を取り出す」をクリックします。**
※「??????」にはディスク名が表示されます。

▼

デスクトップから本製品のアイコン表示が消えます。



③ **本製品前面の電源ボタンを押して電源をオフにします。**

④ **USB ケーブルを取り外します。**

以上で本製品の取り外しは完了です。

困ったときは

Q1. 本製品がパソコンに認識されない

本製品がパソコンに認識されないときは、次の点を確認してください。

■ AC アダプタを接続していますか？
本製品は、USB ポートからの電源供給では動作しません。付属 AC アダプタを接続してください。

■ USB ハブに接続していませんか？
本製品は、USB ハブを介して接続したときの動作は保証しておりません。パソコンに標準装備されている USB ポートに接続してください。

■ USB ケーブルは確実に接続されていますか？
USB ケーブルのコネクタが、本製品とパソコンの USB ポートの奥まで確実に接続されているか確認してください。

■ハードディスクは確実に接続されていますか？
本製品とハードディスクのコネクタが、奥まで確実に接続されているか確認してください。

Q2. ハードディスクが表示されない

「コンピュータ」(Windows 7/Vista)、「マイコンピュータ」(Windows XP/2000)、デスクトップ(Mac OS X)にハードディスクが表示されないときは、次の点を確認してください。

■本製品はパソコンに認識されていますか？
本製品がパソコンに認識されていないときは、Q1 を参照してください。

■ハードディスクはフォーマットされていますか？
フォーマットされていないハードディスクは使用することができません。フォーマットを行う手順は、P2.「3 ハードディスクをフォーマットする」を参照してください。

Q3. P3「本製品を取り外す」の手順でエラーが表示される

本製品をパソコンから取り外そうとしたとき、エラーが表示されたときは次の点を確認してください。

■ウイルス対策ソフト等が動作していませんか？
ハードディスクを常時監視するウイルス対策ソフト等が動作しているときは、取り外しが行えないことがあります。ソフトの動作対象からハードディスクを外すか、ソフトを一時的に停止してから取り外し操作を行ってください。

■ハードディスクの内容が表示されていませんか？
ハードディスク内のファイル一覧や、Windows の「ディスクの管理」画面等が表示されていると、取り外しが行えないことがあります。画面やファイルを閉じてから取り外し操作を行ってください。

■ハードディスクに読み書きしていたり、ハードディスク内のファイルを開いていませんか？
パソコンとハードディスク間でファイルをコピーしていたり、ハードディスクに保存されたファイルを開いていると、取り外しが行えないことがあります。ファイルをコピーしているときは、コピーが完了してから取り外し操作を行ってください。ファイルを開いているときは、ファイルを閉じるかファイルを開いていたソフトを終了してから取り外し操作を行ってください。

Memo

仕様

型番	PL-35STU
機能	
対応規格	USB 2.0
伝送速度	USB 1.1: 12Mbps / USB 2.0: 480Mbps
ハードウェア仕様	
搭載可能ハードディスクドライブ	3.5 インチ SATA HDD × 1
インターフェース	USB 2.0 ポート× 1（タイプ B コネクタ）
LED	2 個
外形寸法	218（W）× 40（H）× 121（D）mm
重量	約 490g（本体+スタンド）
動作時環境	温度：0 ～ 40℃
	湿度：5 ～ 90%（結露なきこと）
保存時環境	温度：-20 ～ 60℃
	湿度：5 ～ 95%（結露なきこと）
その他	
AC アダプタ	入力：AC100V 50/60Hz
対応機種	USB1.1/2.0 を搭載した PC/AT 互換機 および Macintosh
対応 OS	Windows 7(32/64bit)/Vista(32/64bit)/XP/2000/Me 日本語版 Mac OS X 10.3/10.4/10.5/10.6 日本語版
保証期間	1 年間

■注意事項
※ハードディスクドライブは別売りです。
※表示の数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

プラネックスコミュニケーションズ株式会社
●プラネックスコミュニケーションズ、PLANEX COMMUNICATIONS は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
● Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびそのほかの国における登録商標または商標です。
● Mac OS、Macintosh は、Apple Inc. の登録商標です。
●その他、記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
●ご注意：ご使用の際は商品に添付されたマニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。

DA100222-PL-35STU